



おいしいから広がる世界

今日は何をつくらうかな。

食事の時の家族からの

「おいしいね」の五文字がみんなを

幸せにします。

料理は身近なものづくりの代表格。

その主役は一つ一つの素材です。

調味料やだしが、

味の引き立て役です。

ひとくち食べることに

合わさった旨味が体にしみ渡っていきます。

「おいしい」は体が喜んでる声なんですね。

一方、住まいの主役は住む人です。

さまざまな住まいがありますが、

その中でも天然素材でつくられた住まいは

体を生き生きとさせてくれます。

思い通りに使いこなせる住まいは、

あたかも自分の体と一体となっているかの

ようです。

おいしい料理や望み通りの住まいを、

手間をかけることなしにつくりあげることが

難しいように思います。しかし、

ほんの少しの下ごしらえ(準備)の上に

それはあると思つたのです。

料理と住まいづくりは

案外似ているのかもしれない。

身近なものづくりに関わり初めて四十五年。

今夜は何をつくらうかな。

仕事の後も楽しんでいきます。

平成二十五年

石田工務店
代表取締役 石田泰久

住まいにおける素材選びの大切さ ~健やかな暮らしのために~

リフォームにも使える

無垢の床

~住宅見学会でのエピソード1~

「住宅展示場に来るといつも子どもが『早く帰ろう』と何度も言うのに、ここでは何も言わないね。」と何げない会話を耳にする。

素材の良さを一番肌で感じ取れるのは子どもたちではないだろうか。さらさらの無垢床を裸足で駆け回ったり。その気持ち良さから自然に寝転んだり。「ここは気持ちいいよ」と笑顔になっている。子どもは何が良くて何が悪いかわかっている。



弊社施工 K 邸

自然素材の床材としてよく使われる「杉」。柔らかく温かみのある材で人気があります。

天然杉の効果は実証されています 日本経済新聞 H25.9.2 朝刊掲載文より抜粋

天然の国産杉の家と、合板など新建材の家とは住み心地に差があるのかを比較実験している九州大の研究グループが、天然材の家では疲れが脳が回復しやすく、体も活動的な状態になることを突き止めた。研究グループの清水邦義助教(農学研究院)は「杉の香りが影響したのでは」と推測する。研究グループは杉の家と、広さも見た目も同じ新建材の家を一棟ずつ大学構内に建設。実験内容を知らない学生十人が一人ずつそれぞれの家で作業したり一晩寝たりするのを、脳科学、生理学、心理学の観点から調べていた。

天然杉の家屋 脳の疲れ急速に回復

九州大、合板などと比較

脳科学実験では、パソコンで三十分間作業する前後に脳波を測定。新建材の家では作業後、眠い時に多いデルタ波が増加、精神活動が盛んな時に多いガンマ波は減少し、作業で脳が疲れたことを示した。天然材では脳波が作業前後でほとんど変わらず、作業中の脳の疲労が急速に回復したことを示している。

生理学実験では唾液中の成分を計測。天然材では新建材と比べ、交感神経活動が活発な時に増えるアミラーゼが多かった。体が活動的な状態にあったことを意味する。

清水助教は「被験者の脳と体は天然材の方が良い傾向を示した」と説明している。

リフォームにも使える

空気をきれいにする 自然素材

ある時、目の不自由な方がおいでになった。その方が玄関に入るなり「空気がきれい。私のいるマンションの空気と全然違う。」と言われた。「見学会場では臭いが気になって長く居たくなくなるが、ここでは心が安らぐ」と多くの方が言ってくれる。低ホルム、ノンホルム、規制基準値以内と言われても違和感があれば体が教えてくれる。体は正直なのだ。



弊社施工 S 邸

住まいは天井を含めすべて壁で囲まれています。せっかく床を自然素材の無垢材にしても、その床の塗装や壁材に有害物質が入っているものを使つては本当に体に優しい家とはいえません。

マザーハウスでは、無垢材を保護する塗料等にもこだわりをもっています。その一部をご紹介します。

塗料 オーガニック塗料 アウロ <AURO>

環境意識が高いドイツの自然塗料トップメーカー「AURO 社」製のオーガニック塗料。石油系溶剤、合成顔料などを一切使わずすべて天然原料、さらにその原料の栽培にも農業を使わないという徹底ぶりです。手についても荒れにくく、原料植物の香りも優しい。光沢も優しく赤ちゃんがなめても安全な塗料です。



塗壁材 天然素材 100% ホタテ健康壁「あわせ」

天然の「ホタテの貝殻」が原材料の壁材。エコだけでなく、吸湿性に優れ結露カビの発生を防ぎます。シックハウス症候群の原因をされるホルムアルデヒドを吸収し消臭効果・耐熱性・断熱性にも優れています。



無垢材や塗り壁など自然素材に囲まれた優しくてほっとできる住まいは、私たちにやすらぎを与えてくれます。

【住宅づくりに使うことができる自然素材】 ...マザーハウスでは、壁や床、勾配天井などの仕上材に無垢材やホタテ貝殻の塗壁、構造材にも国産材を標準採用しています...

- 木造住宅の柱・土台・大引などの構造材で選ぶべきものは一本ものの檜がよい。
- 床材は、適度に弾力がある杉や檜が良い。
- 壁材は、漆喰やホタテ貝殻の塗壁、火山灰が原料のシラス壁が望ましい。
- 天井材は、木目が美しく落ちついた空間をつくる杉板が良い。
- 和室の柱はもちろん檜、床柱は近くの京都北山で採れる北山杉を使いたい。

マザーハウス こだわり社長コラム

【テーマ：素材選びの大切さ】
「料理でも素材選びを大事にしています。」

【味の下支えに重要な食材：昆布】
北海道で採れた昆布は、大量に輸送できる江戸時代を迎えると北前船で敦賀を経て京都に運ばれるようになり昆布のグルタミン酸の旨味は、京都の料理の下支えとなりました。

大の料理好き マザーハウスの社長「石田社長」にてこだわりの料理編「美味探究」シリーズを時々掲載しています。ぜひご覧ください。

ホームページ内にあります ▶ マザーハウス石田工務店 検索

<昆布の9割以上が北海道産(主な産地は以下の4カ所)>



【だしのとり方】

京都でよく使われる利尻昆布は朝から水につけ、夜に火にかけて80~85℃の湯の中で2時間煮出す。昆布を引き上げて沸騰させ、昆布くささとアクを取り除く。冷ました後、冷蔵庫に入れば3~4日は保存でき、その都度あらゆる料理に使える。

